

活動概要(2017年5月)

① 活動の持続性を視野に入れた EVAP 普及パッケージ実施体制の構築と人材育成の方向性

EVAP 普及パッケージを実施する普及・地域開発総局の実施体制を構築した。パレスチナ政府による承認を得て、各部局が各ステップの担当として正式に任命された。役割が明確になった結果、これまでのところ、各担当部署の担当者は、実際の現場活動に積極的に参加している。実施体制の構築において留意した点は以下のとおりである。

- EVAP 普及パッケージは、栽培技術、マーケット、ジェンダー等の幅広い分野を含んでおり、これらを網羅する部署はもともと存在していない。プロジェクト後を見据えた持続性の観点から、**もともとの業務内容に合ったステップを各部署に割り当て、通常業務の一部として EVAP 普及パッケージを実施していけるよう**に留意した。将来的に、各部署が各ステップを適時に実施することで、普及パッケージ全体が順番に実施される仕組みを目指している。
- 政府職員の中から**公式 EVAP トレーナー(Official EVAP Trainers)**を任命し、全てのステップに横断的に参加してもらい、**EVAP 普及パッケージ全体を把握している人材**としての育成を図っている。公式 EVAP トレーナーを、第 2 サイクル以降の対象農業局に対する技術移転を担当するスタッフとすることを目標としている。

写真 主体的に活動に参加している公式 EVAP トレーナー(左から Mr. Jamal、Ms. Reem、Mr. Moyaed)



表 EVAP 普及パッケージの各ステップの担当部署及び公式 EVAP トレーナー

Extension Step		Main Contents (under development)	Extension Task Force		
			Official EVAP Trainers (Implementer)	In-charge Dept. (Observer)	Other Special Tasks of In-charge Dept.
(1)	Target Group Identification	Identification of farmer groups appropriate for the project purposes using evaluation criteria, etc.	Mr. Moyaed Salman Mr. Walid Lahlouh Ms. Reem Fathi Mr. Jamal Abdo	Extension Planning Dept. (Ms. Sana & Mr. Khalidon)	-
(2)	Awareness Creation Tour	Field visits to "Good Practice Farmers" based on farmer-to-farmer extension concept		Mass Media Dept. (Ms. Fatima & Ms. Hanan)	Preparation of Introduction Sheets of "Good Practice Farmers"
(3)	Market Analysis	Participatory Market Survey by farmers		Local Market Dept. (Mr. Thafer, Mr. Odeh & Mr. Ramiz)	Arrangement of Market Visit
(4)	Family Resource and Gender Analysis	Analysis of effective use of family resources in agriculture activities under gender consideration		Rural Development and Women Dept. (Ms. Safa, Ms. Ala & Mr. Jamal)	-
(5)	Business Partner Analysis	Supplementing such information about market, farm inputs, support program, etc.		Market Information Dept. and Local Market Dept. (Mr. Thafer & Mr. Abedulqader)	Arrangement of Business Partner Analysis
(6)	Action Planning and Baseline Assessment (by Farmers Group)	- Making farming improvement plan by farmers - Baseline assessment by farmers, etc.		Extension Planning Dept. (Mr. Tareq & Ms. Sana)	Follow-up of Action Planning and Extension Planning
(7)	Action Plan Follow-up and Extension Planning (by Extensionists)	Technical support by extensionists to farmers, etc.		Extension Planning Dept. and Other Related Technical Dept. (Mr. Tareq, Ms. Sana & Other related persons)	
(8)	Training and Technical Support	Technical trainings based on farmers' needs in their farming improvement plan, etc.		Extension Planning Dept. and Other Related Technical Dept. (Mr. Tareq, Ms. Sana & Other related persons)	
(9)	Endline Assessment (by Farmers Group)	Endline assessment by farmers, etc.		Extension Planning Dept. (Mr. Tareq, Ms. Sana & Other related persons)	

② Action Planning and Baseline Assessment Workshop(普及ステップ 5)に係る普及・地域開発総局及び県農業局を対象とするプレトレーニングガイダンスの開催

普及ステップ 5 では、これまでのステップで得た情報をもとに、農家が「営農改善計画」を策定する。普及・地域開発総局(2017/4/26)、ナブルス農業局及びトウバス農業局(2017/5/3)、ジェリコ農業局(2017/5/4)において、実際にファシリテーターとなる政府職員を対象に、実施手順に係る説明・協議を行った。そして、政府職員からの意見をもとに、研修内容の修正も行った。

Action Planning and Baseline Assessment Workshop(普及ステップ 5)の構成

本ステップの目的:

農家自身による「営農改善計画」(個人と農家グループ)の策定を行い、ベースラインとなる情報も確認すること

本ステップのコンセプト:

- これまでに参加した Awareness Creation Tour、Market Analysis、Family Resource and Gender Analysis を通じて得た多様な情報をもとに農家自身が営農改善計画を策定すること
- 作物・栽培体系間の収益性の比較を行うことができる営農改善計画を策定すること(一般に、農家は新たな栽培技術や作物を導入する際に実際の収益を見てからでないと導入しない場合が多いため)
- 作物多様化の視点を踏まえ、農家グループとして既存(2種類)と新規(1種類)の作物・畜産物を、トレーニングの対象として選定すること(作物の多様化は農家にとって重要な収益の安定化にも繋がるため)

その他配慮したポイント:

- 前ステップの結果や他グループの活動も知ることができる Newsletter を参加農民に配布しました。他グループの活動を知ることで良かった点を共有したり、刺激を与えたり、競争心を芽生えさせることも目的です。
- 冒頭でこれまでのステップの振り返りを行い、参加できなかった農民にも情報が共有できるようにしました。
- 農業が基幹の収入源であるか、補助的な収入源であるか明記するようにしました(それにより、必要となる技術ニーズが異なるため)。
- 多様な情報をもとに営農改善計画を策定できるフォーマットとしました(対象作物・畜産物のマーケットの種類とそれに応じた営農戦略、活用できる営農アセット、その時期に利用できる労働力等)。
- 子供連れで参加する農民が研修に集中できるように子供用のぬりえや玩具を配置する等の配慮を行いました。



③ Action Planning and Baseline Assessment Workshop(普及ステップ 5)の実施

県農業局普及員のファシリテーションの下、農家グループを対象とするワークショップを実施した。

成果とインパクト:

- 多くの農民が、これまでに参加した Awareness Creation Tour、Market Analysis、Family Resource and Gender Analysis を通じて得た情報をもとに農家自身が営農改善計画を策定できた。
- 全ての農家グループが、メンバー農民個人が策定した営農改善計画を踏まえて、グループとしての対象作物・畜産物を選定し、営農改善に係る方針を明確化することができた。
- 残念ながら、多くの農民がベースライン(プロジェクト介入前の収益)を確認することができなかった。通常は記録を取っていないために、記憶をもとにした曖昧なデータを記入しつづけることが主な理由であった。

気づいた点:

- パレスチナの農民は、記録によって明確化された収益性のデータがないと、新規作物・技術を導入したがる傾向があることがわかった。
- 女性農民は労働負荷の少ない作物を選定する傾向があることがわかった。本プロジェクトでは、農家グループ選

定の際に、男性グループと女性グループを別々に選定したため、それぞれのグループで選定された作物や技術ニーズも明確に異なる結果となったことから、**女性農民のニーズが適切に反映された**と考えられる。

今後の課題:

- ・ ベースラインとエンドラインのデータを取るために営農記録(Farm Record)研修を全ての農家グループに対して実施する必要が生じた。

● **Aqqaba Extension Women Sub-group(トゥバス)(2017/5/23)**

農家グループが選定した研修の対象作物:

- ・ 既存作物:アーモンド、タイム
- ・ 新規作物:グンデリア

農家グループとしての営農改善戦略:

- ・ 女性の労働負荷を踏まえたいうでの対象作物の選定
- ・ アーモンド:生産コストの削減、新規販売先の確保
- ・ タイム:品質の改善、パッケージングやプロモーションの改善、新規販売先の確保
- ・ グンデリア:新規導入、パッケージングやプロモーションの改善、新規販売先の確保

特に関心の高い技術研修ニーズ:

- ・ タイム:市場に求められる基準に基づく加工、適正施肥・収穫方法による収量の増加
- ・ グンデリア:栽培技術全般



● **Jeftlik Farmers Extension Group(ジェリコ)(2017/5/11)**

農家グループが選定した研修対象作物:

- ・ 既存作物:スカッシュ、ナス
- ・ 新規作物:春キュウリ

農家グループとしての営農改善戦略:

- ・ スカッシュ:定植時期の変更、収穫時期の変更、収量の増加
- ・ ナス:新品種の導入、新規販売先の確保
- ・ 春キュウリ:品質の向上、パッケージングやプロモーションの改善、新規販売先の確保

特に関心の高い技術研修ニーズ:

- ・ 新しい作物・品種の栽培技術全般
- ・ 土壌への塩類集積を軽減するための施肥・灌漑改善技術



● Bardala Extension Women Group(トウバス)(2017/5/10)

農家グループが選定した研修対象作物:

- ・ 既存作物: キュウリ、タイム
- ・ 新規作物: パプリカ

農家グループとしての営農改善戦略:

- ・ 女性の労働負荷を踏まえたうえでの対象作物の選定
- ・ キュウリ: 定植時期の変更、収穫時期の変更、収量の増加、新規販売先の確保
- ・ タイム: 収量の増加、品質の向上、新規販売先の確保
- ・ パプリカ: 品質の向上、パッケージングやプロモーションの改善、新規販売先の確保

特に関心の高い技術研修ニーズ:

- ・ キュウリ: 病害虫防除、最適な定植時期、品種の選定
- ・ タイム: 品質管理、乾燥・収穫後処理技術、消費者のニーズにを踏まえたプロモーション
- ・ パプリカ: 他農家の視察を含む栽培技術全般(特に果実の色を揃える技術)



● Al-Musafah Extension Sub-Group(ジェリコ)(2017/5/15)

農家グループが選定した研修対象畜産物:

- ・ 既存畜産物: ヒツジ、フレッシュチーズ
- ・ 新規畜産物: ボイルドチーズ

農家グループとしての営農改善戦略:

- ・ ヒツジ: 販売価格の高い新系統の導入、生産性の向上、飼育コストの削減
- ・ フレッシュチーズ: 品質の向上、生産コストの削減
- ・ ボイルドチーズ: 品質の向上、新規販売先の確保

特に関心の高い技術研修ニーズ:

- ・ ヒツジ: 病気予防・対策、飼育ステージに応じた飼料の変え方・与え方、営農管理全般、新生ヒツジのケア、系統選抜技術
- ・ ボイルドチーズ: 市場ニーズに基づく品質の向上



● Frosh Beit Dajan Extension Sub-Group(ナブルス)(2017/5/16)

農家グループが選定した研修対象作物:

- ・ 既存作物: トマト、インゲンマメ
- ・ 新規作物: エンドウマメ(吊り栽培)

農家グループとしての営農改善戦略:

- ・ トマト: 定植時期の変更、収穫時期の変更、収量の増加、生産コストの削減
- ・ インゲンマメ: 生産コストの削減、収量の増加、パッケージングやプロモーションの改善
- ・ エンドウマメ: 新規導入

特に関心の高い技術研修ニーズ:

- ・ 市場価格が特に高い時期におけるプロモーション(品質の高さという強みを生かすための販売戦略)



● Al Badhan Mother's School Group(ナブルス)(2017/5/14)

農家グループが選定した研修対象作物:

- ・ 既存作物: レモン、キュウリ
- ・ 新規作物: ユウガオ(Bottle Gourd)

農家グループとしての営農改善戦略:

- ・ レモン: 収量の増加、生産コストの削減
- ・ キュウリ: 収量の増加、新規販売先の確保
- ・ ユウガオ: 収量の増加、品質の向上、定植時期の変更

特に関心の高い技術研修ニーズ:

- ・ レモンの剪定技術
- ・ 病害虫防除、施肥、小型農機具と灌漑施設のメンテナンス(通常は男性が主に担当している作業だが、男性のイスラエルへの出稼ぎ時に、女性農民だけでも対応できるようになりたいため)
- ・ 農作業を効率化するための営農記録



④ Action Plan Follow-up and Extension Planning(普及ステップ6)の実施

普及ステップ6のうち、Extension Planningでは、前のステップで策定された農家グループの「営農改善計画」をもとに、県農業局普及員が農家グループごとの「普及計画」を策定した。

Extension Planning(普及ステップ6)の構成

本ステップの目的:

農家グループの「営農改善計画」をもとに県農業局が農家グループごとの「普及計画」を策定すること

本ステップのコンセプト:

- ・ 前ステップで作成された個人の営農改善計画をレビューし、農家グループとしての技術ニーズの概要を把握する。
- ・ 県農業局普及員による**技術普及での営農改善計画の実現性**を検討する。
- ・ 普及計画のフレームワークを策定する。なお、**農家グループあたりの技術研修の回数は6回を上限とし、2時間で完結できる範囲で1回の研修で2つのモジュールを実施することも可能とする。**
- ・ 農家グループから挙げられた技術ニーズに対応する研修内容を策定する。なお、栽培技術に関連する研修については、**作物の栽培カレンダーに対応した計画とする。**

● ジェリコ農業局での Extension Planning (2017/5/21)

県農業局普及員を中心に Jeftlik Farmers Extension Group と Al-Musafah Extension Sub-Group に対する普及計画を策定した。

1) Jeftlik Farmers Extension Group に対する普及計画

研修対象作物(栽培シーズン):

- ・ 既存作物: スカッシュ(9-4月)、ナス(9-5月)
- ・ 新規作物: 春キュウリ(12-4月)

普及計画:

Session No.	Month	Extension Module
1	July	Farm record
2	August	Business matching/Market information
3	September	Production-1 (new crop cultivation etc.)
4	October	Sorting and packaging/Group selling
5	November	Production-2 (fertilization and soil management etc.)
6	December	Production-3 (irrigation network etc.)



2) Al-Musafah Extension Sub-Group に対する普及計画

研修対象畜産物:

- ・ 既存畜産物: ヒツジ、フレッシュチーズ
- ・ 新規畜産物: ボイルドチーズ

普及計画:

Session No.	Month	Extension Module
1	July	Farm record
2	September (early)	Production-1 (breeding etc.)
3	September (late)	Production-2 (medication etc.)
4	October	Market information/Group procurement
5	December	Business matching/Group selling
6	January	Production-3 (cheese)

● ナブルス農業局での Extension Planning (2017/5/21)

県農業局普及員を中心に Al Badhan Mother's School Group と Frosh Beit Dajan Extension Sub-Group に対する普及計画を策定した。

1) Al Badhan Mother's School Group に対する普及計画

研修対象作物(栽培シーズン):

- ・ 既存作物: レモン(通年)、キュウリ(9-12月)
- ・ 新規作物: ユウガオ(Bottle Gourd)(9-11月)



普及計画：

Session No.	Month	Extension Module
1	July	Farm record
2	August	Business matching/Market information/Study tour
3	September	Production-1 (disease control and maintenance of sprayer etc.)
4	October	Group selling
5	November	Production-2 (fertilization and soil management etc.)
6	March	Production-3 (pruning of lemon)

2) Frosh Beit Dajan Extension Sub-Group に対する普及計画

研修対象作物(栽培シーズン)：

- ・ 既存作物: トマト(9-5月)、インゲンマメ(12-2月)
- ・ 新規作物: エンドウマメ(吊り栽培)(11-3月)

普及計画：

Session No.	Month	Extension Module
1	July	Farm record/Group procurement
2	August	Business matching/Market information/Study tour
3	September	Production-1 (new crop cultivation etc.)
4	October	Production-2 (fertilization and soil management/irrigation network etc.)
5	December	Sorting and packaging/Promotion
6	January	Group selling

● トウバス農業局での Extension Planning (2017/5/25)

県農業局普及員を中心に Aqqaba Extension Women Sub-group と Bardala Extension Women Group に対する普及計画を策定した。



1) Aqqaba Extension Women Sub-group に対する普及計画

研修対象作物(栽培シーズン)：

- ・ 既存作物: アーモンド(通年)、タイム(10-6月)
- ・ 新規作物: ゲンデリア(10-5月)

普及計画：

Session No.	Month	Extension Module
1	July	Farm record
2	August	Group selling
3	September	Production-1 (Gundelia)
4	October	Compost application
5	December	Study tour (compost application, Gundelia etc.)/Business matching (Thyme)
6	February	Production-2 (Thyme)/Sorting and Packaging

2) Bardala Extension Women Group

研修対象作物(栽培シーズン)：

- ・ 既存作物: キュウリ(9-11月)、タイム(11-7月)
- ・ 新規作物: パプリカ(12-5月)

普及計画：

Session No.	Month	Extension Module
1	July	Farm record/Market information
2	August	Study tour/Business matching (Thyme)
3	September	Production-1 (Cucumber)
4	October	Production-2 (Paprika)
5	November	Group selling/Sorting and Packaging
6	February	Production (Thyme)